

会 告

学会会員殿

陣痛促進剤の適正使用について

陣痛促進剤(オキシトシン製剤, プロスタグランジン製剤)による副作用として, まれに過強陣痛, 子宮破裂, 胎児仮死等が出現することは, すでに知られています。しかし, 平成7年12月に厚生省の指導で実施された実態調査では, 平成4年10月の「使用上の注意」改訂以降も副作用が疑われる23症例が報告され, その内に母体死亡が2例, 胎児・新生児死亡が7例含まれています。これに伴い, 使用上の注意をさらに周知徹底するため, 今般, 添付文書の改訂が行われました。

会員各位には本剤の添付文書に従って適正使用に一層留意されることを強く求めます。

平成8年4月

社団法人 日本産科婦人科学会
会 長 水 口 弘 司